

保護者からの感想等

【保育の計画性について】

前年度、担任との話し合う機会がパターン化された事については、子供達の成長発達に繋がっていると思うので、いい事だと思う。

・人の話を聞くと言うのは、子供の成長過程においてとても重要な事だと思うので、自立心を養うためにも日常の関わりを大事にしていきたい。

・指導計画については、子供達一人ひとりの日々の保育の振り返りや検証を先生方で共有し、指導計画をする事により、子供達の生活が更に良くなると思う。是非引き続き実行していきたい。

【保育の在り方、幼児への対応について】

・子供達のありのままの姿を受け止め、安心して自己発揮出来るように関わったのはいいことだと思う。保育中、園を訪問して子供達が皆、楽しく伸び伸び遊んでいる姿を拝見している。先生方がありのままの姿を受け入れている証拠だと思う。これからも個々の特性を生かし情報共有をして、更に伸び伸び楽しく出来るような生活を目指していきたい。

・今年はコロナの影響で異年齢の子供達と関わることも少なかったのではないかと思うが、コロナの厳しい中でも先生方が一生懸命子供達の事を考え、色々行事を持ち合わせ関わりを持てるようにしていただけたことは、この一年間、子供達も楽しく幼稚園生活を過ごせたのではないかと思う。

・配慮を必要とする園児については、先生方等の共通理解があつての事だと思う。家庭や専門機関との連携を持って対応した事については対象園児にとっても大切で良い対応だと思う。これから先も早期連携対応を心掛けていきたい。

【研修と研究について】

・教育目標Ⅱ「自ら考え、自ら決め、選んで行う子どもに」に関しては、先生方が子供達一人ひとりに親身に対応してくれている分、友達同士の思いやりの気持ちを抱く事の出来る素直な心を持つ子どもが多いと思う。年少、年中、年長と上がって行くに連れて、園児たちが教育目標へ近づいている事もわかる。

・研究課題を定め、大学から講師を招き入れたり等新しいことに取り組むというのは、更に保育の向上にもなり、実践に繋げることが出来ているのでいいことだと思う。また、先生方から子どもの様子を教えてもらうことが出来るため、園生活の様子がよく分かり、子どもと家庭でその日の話がしやすくなった。これからも、時間があるときに構わないので園での様子を教えていきたい。

【総合まとめ】

・今年、コロナの影響で行事が出来なかったり、今までと違うやり方で行事を行ったが、先生方が、園児の事を思い色々試行錯誤していただいたことで、運動会としては出来なかったが、運動遊びとして年少組、年中組、年長組で日にちは違ったが、実行できて良かったと思う。また、先生方が教室での園児の人数調整等、色々考えて下さり子供達もこの一年安全に過ごしていけるように配慮していただいた分、子供達も楽しく一年過ごすことができたと思う。今後も、子供たちが一日一日安全に過ごすことの出来るよう配慮していただき、温かく見守ってもらい、更なるご指導、後押しを宜しくお願いいたします。

令和2年12月13日

ひばり会 会長 奥秋 博臣